

HPVワクチン（ガーダシル）の 副反応疑い報告状況について

○組換え沈降4価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン（酵母由来）

商 品 名 : ガーダシル

製 造 販 売 業 者 : MSD株式会社

販 売 開 始 : 平成23年8月

効 能 ・ 効 果 : ヒトパピローマウイルス 6、11、16及び18型の感染に起因する以下の疾患の予防
 ・子宮頸癌(扁平上皮細胞癌及び腺癌)及びその前駆病変(子宮頸部上皮内腫瘍(CIN)1、2及び3並びに
 上皮内腺癌(AIS))
 ・外陰上皮内腫瘍(VIN)1、2及び3並びに腔上皮内腫瘍(VaIN)1、2及び3
 ・尖圭コンジローマ

副反応疑い報告数

(平成30年9月1日から平成30年12月31日報告分まで：報告日での集計)

平成30年9月1日から平成30年12月31日までの医療機関への納入数量を接種可能なべ人数とし、副反応疑い報告頻度を計算したものは以下のとおり。なお、製造販売業者によると、接種スケジュールを勘案し、これまでの1人あたりの平均接種回数を2.4回と仮定して出荷数量より推計した接種者数は、82万人とのことである。

※報告日での集計のため、以下の件数には接種日や発生日が対象期間以前の症例も含まれている。

(単位:例(人))

対象期間	接種可能なべ人数 (回数)	製造販売業者からの報告		医療機関からの報告	
		報告数 () : 接種日が左記期間内の症例		報告数 () : 接種日が左記期間内の症例	
		報告頻度		報告頻度	うち 重篤
平成30年9月1日 ～平成30年12月31日	10,042	3 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
		0.03% (0.01%)	0.01% (0.01%)	0.01% (0.01%)	0.01% (0.01%)
(参考) 販売開始からの累計	1,966,562	163	495	192	192
		0.01%	0.03%	0.01%	0.01%

平成30年9月1日から平成30年12月31日報告分の重篤例の転帰

(単位:例(人))

	製造販売業者からの報告						医療機関からの報告					
	回復/軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	計	回復/軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	計
重篤例数	1	0	0	0	2	3	1	0	0	0	0	1

(注意点)

※ 副反応疑い報告については、医薬品との因果関係が不明なものを含め、製造販売業者又は医療機関から報告されたものであり、個別に医薬品との関連性を評価したものではない。

※ 販売開始からの累計において、製造販売業者からの報告は、販売開始～平成30年12月31日までの報告分、医療機関からの報告は、平成23年9月20日～平成30年12月31日までの報告分である。

※ 「重篤」とは、死亡、障害、それらに繋がるおそれのあるもの、入院相当以上のものが報告対象とされているが、必ずしも重篤でないものも「重篤」として報告されるケースがある。

※ 非重篤症例には、重篤度が不明の症例も含まれている。

※ 製造販売業者からの報告は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第68条の10に基づき「重篤」と判断された症例について報告されたものである。なお、製造販売業者からの報告には、医療機関から報告された症例と重複している症例が含まれている可能性があり、重複症例は、医療機関報告として計上している。また、その後の調査等によって、報告対象でないことが確認され、報告が取り下げられた症例が含まれる可能性がある。

※ 製造販売業者からの報告には、複数の製造販売業者から重複して報告されている症例が含まれている可能性がある。

HPVワクチン(ガーダシル)の副反応疑い報告状況

平成25年4月1日から平成30年12月31日までの報告数及び症状種類別報告件数は以下のとおり。医療機関からの報告については、報告医が「重篤」としたものを集計した。

	医療機関からの報告	製造販売業者からの報告	平成25年4月～平成30年8月までの企業報告と医療機関重篤症例の総計数	医療機関からの報告	製造販売業者からの報告	平成30年9月～平成30年12月までの企業報告と医療機関重篤症例の総計数
報告数	185	105	290	1	3	4
症状別総件数	1464	564	2028	2	4	6
症状名の種類	症状の種類別件数					
胃腸障害						
* ひらん性胃炎	1			1		
* メレナ	1			1		
* 悪心	29	10		39		
* 胃炎	1			1		
* 胃食道逆流性疾患	1			1		
* 胃腸障害	1			1		
* 下腹部痛	2			2		
* 下痢	8	3		11		
* 過敏性腸症候群	2	1		3		
* 急性腹症	1			1		
* 血便排泄	1			1		
* 口の感覚鈍麻	1			1		
* 口内炎		1		1		
* 口内乾燥	2	1		3		
* 歯肉出血	1			1		
* 上腹部痛	3	1		4		
* 腸炎	1			1		
* 吐血	1			1		
* 腹性片頭痛	1			1		
* 腹痛	11	8		19		
* 腹部症状	1			1		
* 腹部膨満	1			1		
* 便秘	4	3		7		
* 慢性腸炎	1			1		
* 嘔吐	7	8		15		
* 嚥下障害	1	1		2		
* 肛門直腸障害		1		1		
一般・全身障害および投与部位の状態						
* ワクチン接種部位疼痛	1			1		
* 注射部位疼痛	10	2		12		
* 悪寒	2			2		
* 異常感	7	3		10		
* 乾燥症	1			1		
* 顔面痛		1		1		
* 胸痛	7	1		8		
* 倦怠感	54	13		67		
* 腫脹	1			1		
* 全身健康状態悪化	1			1		
* 全身症状	1			1		
* 全身性浮腫	1			1		
* 体温調節障害	1			1		
* 体調不良		2		2		
* 注射部位紅斑	1	1		2		
* 注射部位腫脹	3	1		4		
* 注射部位熱感	1			1		
* 低体温		1		1		
* 投与部位異常感覚	1			1		
* 熱感	1			1		
* 発達退行		1		1		
* 発熱	23	9		32		
* 疲労	15	9		24		
* 不快感	4	1		5		
* 副作用		1		1		
* 歩行障害	26	12		38		
* 歩行不能	3	2		5		
* 末梢性浮腫	1	2		3		
* 慢性疲労症候群	2			2		
* 無力症	19	14		33		
* 有害事象		3		3		
* 冷感	2	2		4		
* 疼痛	46	17		63		
感染症および寄生虫症						
* インフルエンザ	2			2		
* ウイルス性脊髄炎	1			1		
* 易感染性亢進	1			1		
* 胃腸炎	2			2		
* 咽頭炎	3			3		
* 外耳炎	1			1		
* 気管支炎	1			1		
* 上咽頭炎	5			5		
* 虫垂炎	1			1		
* 脳炎	9	1		10		
* 副鼻腔炎	2			2		
* 蜂巣炎		1		1		
* 網膜炎	1			1		
* 扁桃炎	1			1		
眼障害						
* ドライアイ	1			1		
* ぶどう膜炎					1	1
* 一過性失明		1		1		
* 眼の障害		2		2		
* 眼球乾燥症	2			2		
* 眼充血		1		1		
* 眼痛	2	1		3		
* 後天性涙道狭窄					1	1
* 光視症		1		1		
* 視力障害	6	4		10		
* 視力低下	2	3		5		
* 複視	1			1		
* 変視症	1			1		
* 霧視	2	1		3		
* 網膜血管血栓症		1		1		
* 網膜剥離	1			1		
* 網膜裂孔	1			1		
* 流涙障害	1			1		
* 羞明	12	3		15		
筋骨格系および結合組織障害						
* シェーグレン症候群	3			3		

* ミオキミア	1		1		
* モルフェア			1		
* 運動性低下		2	2		
* 開口障害		1	1		
* 頰関節症候群	1		1		
* 関節リウマチ	1		1		
* 関節炎	8		8		
* 関節腫脹	1	1	2		
* 関節痛	28	9	37		
* 筋筋膜炎	1		1		
* 筋固縮		1	1		
* 筋骨格系胸痛	2		2		
* 筋骨格硬直	5	2	7		
* 筋骨格痛	5	1	6		
* 筋腫脹	1		1		
* 筋肉痛	11	4	15		
* 筋力低下	31	13	44		
* 筋痙攣	6	5	11		
* 頸部痛	3	3	6		
* 骨粗鬆症		1	1		
* 骨痛		2	2		
* 四肢痛	26	16	42		
* 四肢不快感	1	1	2		
* 若年性特発性関節炎		4	4		
* 脊椎分離	1		1		
* 線維筋痛	7	2	9		
* 全身性エリテマトーデス	1	1	2		
* 側腹部痛	1	2	3		
* 側弯症	1		1		
* 多発性関節炎	1		1		
* 背部痛	21	5	26		
* 反応性関節炎		1	1		
* 腱付着部症		1	1		
* 異径部痛		2	2		
血液およびリンパ系障害					
* リンパ節症	2	1	3		
* 血小板減少症	1		1		
* 血小板減少性紫斑病	1		1		
* 貧血	1		1		
* 免疫性血小板減少性紫斑病		1	1		
血管障害					
* ショック	1	1	2		
* ほてり		1	1		
* 起立性低血圧	8	3	11		
* 血管炎	1		1		
* 紅痛症	1		1		
* 高血圧	1		1		
* 低血圧	4	1	5		
* 末梢冷感	6	3	9		
外科および内科処置					
* 気管切開		1	1		
* 脊椎手術		1	1		
呼吸器、胸郭および縦隔障害					
* 咽喉絞扼感	1		1		
* 過換気	16	8	24		
* 咳嗽	2	2	4		
* 気胸		1	1		
* 呼吸困難	12	5	17		
* 呼吸停止	1		1		
* 誤嚥性肺炎		1	1		
* 口腔咽頭痛	1		1		
* 口腔咽頭不快感	2		2		
* 喉頭痛	1		1		
* 上気道の炎症	1		1		
* 鼻出血	2	1	3		
* 無呼吸発作	1		1		
* 喘息	1	2	3		
耳および迷路障害					
* メニエール病	1		1		
* 回転性めまい	3		3		
* 耳鳴	6	2	8		
* 乗物酔い	1		1		
* 聴覚過敏	7	1	8		
* 聴覚障害	3		3		
* 聴力低下	1	2	3		
* 難聴	2		2		
* 両耳難聴	1		1		
社会環境					
* 車椅子使用者	1	4	5		
* 障害者		1	1		
* 寝たきり	1		1		
* 身体障害者		1	1		
* 日常活動における個人の自立の喪失		2	2		
* 歩行障害者	1		1		
* 歩行補助用具使用者	1		1		
傷害、中毒および処置合併症					
* ワクチン接種後症候群	3	3	6		
* 歯牙破折	1		1		
* 上顎炎	1		1		
* 仙骨骨折	1		1		
* 足骨折	1		1		
* 転倒	2		2		
* 皮膚裂傷	1		1		
* 靭帯捻挫	1		1		
心臓障害					
* ウォルフ・パーキンソン・ホワイト症候群	1		1		
* 起立性頻脈症候群	2	1	3		
* 狭心症	1	2	3		
* 心室性期外収縮	1		1		
* 心室性頻脈	1		1		
* 動悸	10	1	11		
* 頻脈	2	1	3		
* 不整脈	1		1		
* 房室ブロック	1		1		
神経系障害					
* ギラン・バレー症候群	7	2	9		
* シスキネジア	13	5	18		
* てんかん	8	3	11		
* ナルコレプシー	3	2	5		

* パーキンソニズム		1	1			
* ヒベルパチー		1	1			
* ミオクローヌス	1	1	2			
意識レベルの低下	2	1	3			
意識消失	11	5	16			
* 意識変容状態	2	3	5			
* 異常感覚		1	1			
* 異痛症	2	1	3			
* 運動緩慢		1	1			
* 運動機能障害	4		4			
* 運動失調	2		2			
* 運動障害	8		8			
* 温度覚消失	1		1			
* 下肢静止不能症候群	1	1	2			
* 過眠症	9	3	12			
* 概日リズム睡眠障害		1	1			
* 感覚運動障害	1		1			
* 感覚障害	6	4	10	1		1
* 感覚鈍麻	37	20	57			
* 間代性痙攣	1		1			
* 眼振	2		2			
* 顔面痙攣		1	1			
* 記憶障害	23	8	31			
* 起立障害	7		7			
* 起立不耐性	25	8	33			
急性散在性脳脊髄炎	2	1	3			
* 傾眠	8	2	10			
* 計算力障害	2		2			
* 健忘		1	1			
* 言語障害	1	1	2			
* 固定姿勢保持困難		1	1			
* 後頭神経痛	1		1			
* 構音障害	1		1			
* 昏睡	1		1			
* 錯感覚	1		1			
* 刺激無反応	1		1			
* 四肢麻痺	1		1			
* 視神経炎	1		1			
* 視野欠損	1		1			
* 自己免疫性脳炎		1	1			
* 自己免疫性脳症	2	1	3			
* 自律神経ニューロパチー	2	1	3			
* 自律神経失調	6	2	8			
失神	19	5	24	1		1
失神寸前の状態	7		7	1		1
* 重症筋無力症	1		1			
* 書字障害	3		3			
* 小脳性運動失調	3	1	4			
* 小発作てんかん	1		1			
* 振戦	15	8	23			
* 神経学的症状	3		3			
* 神経系障害	17	1	18			
* 神経痛	1		1			
* 精神的機能障害	14	1	15			
全身性強直性間代性発作	1		1			
* 側頭葉てんかん	1		1			
* 多発ニューロパチー	1		1			
* 多発性硬化症	2		2			
* 体位性めまい	12	2	14			
* 大脳萎縮	1		1			
脱力発作	3		3			
* 単麻痺	1	1	2			
* 知覚過敏		1	1			
* 知的能力障害		1	1			
* 遅延睡眠期		1	1			
* 注意力障害	7	2	9			
頭痛	72	29	101			
* 認知症	1		1			
* 認知障害	19	4	23			
* 脳幹症候群	1		1			
* 脳室拡張		1	1			
* 脳循環不全	4		4			
* 脳症	8		8			
* 判断力低下	1	2	3			
* 表情減少	1		1			
* 不全単麻痺	1	3	4			
* 不全片麻痺		1	1			
浮動性めまい	30	13	43			
* 複合性局所疼痛症候群	9	3	12			
* 平衡障害	1	1	2			
片頭痛	3		3			
* 片麻痺	3	1	4			
* 麻痺	4	1	5			
* 末梢性ニューロパチー	34	5	39			
* 末梢性麻痺	1		1			
* 慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー		1	1			
* 味覚異常	3		3			
* 無動	1		1			
* 免疫処置後脳炎	1		1			
* 肋間神経痛	1		1			
* 嗅覚錯誤	10		10			
* 嗜眠	1		1			
* 痙攣発作	25	18	43			
腎および尿路障害						
* 血尿	1		1			
* 尿閉		1	1			
* 排尿困難		1	1			
* 頻尿		1	1			
* 膀胱障害		1	1			
生殖系および乳房障害						
* 過少月経	1		1			
* 希発月経	1		1			
* 月経過多	1		1			
* 月経困難症	8	2	10			
* 月経障害	8	1	9			
* 月経遅延		2	2			
* 排卵痛	1		1			
* 不規則月経	16	5	21			
* 不正子宮出血	1		1			

* 無月経	2	1	3		
* 無排卵性出血	1		1		
* 卵巣腫大	1		1		
精神障害					
* うつ病	2		2		
* コミュニケーション障害		1	1		
* ストレス	1		1		
* 易刺激性	1	1	2		
* 解離性障害	1		1		
* 解離性同一性障害		1	1		
* 学習障害	1		2		
* 感情不安定	3	3	6		
* 気分動揺		1	1		
* 気力低下	1		1		
* 恐怖	2	1	3		
* 緊張	1		1		
* 激越	1		1		
* 幻覚	3		3		
* 幻視		1	1		
* 幻聴	3	2	5		
* 故意の自傷行為	1		1		
* 錯覚	17	1	18		
* 自殺企図		1	1		
* 自殺念慮	2		2		
* 失見当識	1	1	2		
* 初期不眠症	2		3		
* 情動障害	2		2		
* 身体症状症	3		3		
* 人格変化	3		3		
* 睡眠障害	21	11	32		
* 睡眠発作	1		1		
* 摂食障害	1	2	3		
* 退行行動		1	1		
* 転換性障害	2		2		
* 登校拒否	11		11		
* 統合失調症	2	2	4		
* 不安	8		8		
* 不安障害	4		4		
* 不眠症	6	4	10		
* 慢性チック障害		1	1		
* 無為		1	1		
* 無感情		1	1		
* 抑うつ気分	1		1		
* 抑うつ症状	1		1		
* 譫妄		1	1		
先天性・家族性および遺伝性障害					
* シンベル症候群		1	1		
* 脊髄小脳失調症		1	1		
代謝および栄養障害					
* ミトコンドリア細胞症	1		1		
* 栄養補給障害		1	1		
* 過小食	1		1		
* 過食		1	1		
* 食欲減退	5	5	10		
* 体重変動	1		1		
内分泌障害					
* バセドウ病	1		1		
* 下垂体機能低下症	1		1		
* 視床下部一下垂体障害	2		2		
* 自己免疫性甲状腺炎		1	1		
皮膚および皮下組織障害					
* ざ瘡		1	1		
* そう痒症	3	1	4		
* 顔面腫脹		1	1		
* 血管浮腫	2		2		
* 光線過敏性反応	14		14		
* 紅斑	3		3		
* 紫斑	1		1		
* 湿疹	1	1	2		
* 全身性皮疹	1	1	2		
* 全頭脱毛症	1		1		
* 多汗症	3	2	5		
* 点状出血	1		1		
* 発疹	2	1	3		
* 皮膚炎	1		1		
* 皮膚粘膜眼症候群	1		1		
* 皮膚変色	1		1		
* 乏汗症		1	1		
* 冷汗	1		1		
* 蕁麻疹	2	1	3		
免疫系障害					
* アナフィラキシーショック	1	1	2		
* アナフィラキシー反応	1	1	2	1	1
* 季節性アレルギー	1		1		
* 自己免疫障害		1	1		
* 食物アレルギー	2		2		
* 免疫系障害	17		17		
良性・悪性および詳細不明の新生物(嚢胞およびポリープを含む)					
* 子宮頸部腺癌		1	1		
臨床検査					
* C-反応性蛋白増加		1	1		
* 握力低下	3		4		
* 血小板数減少	1		1		
* 血中クレアチンホスホキナーゼ増加	1		1		
* 抗核抗体陽性	1		1		
* 四肢の温度差	1		1		
* 視野検査異常	1		1		
* 体重減少	2		2		

*未知の事象

★効能・効果に関連する事象

HPVワクチン(ガーダシル)の副反応疑い報告状況

予防接種後副反応疑い報告書の別紙様式1の報告基準に記載のある症状(「その他の反応」は除く)について、報告状況をもとに集計を行った。

	医療機関からの報告	製造販売業者からの報告	平成25年4月～平成30年8月までの企業報告と医療機関重篤症例の総計数	医療機関からの報告	製造販売業者からの報告	平成30年9月～平成30年12月までの企業報告と医療機関重篤症例の総計数
アナフィラキシー*1	2	2	4	1		1
急性散在性脳脊髄炎(ADEM)*2	2	1	3			
ギラン・バレー症候群*3	7	2	9			
血小板減少性紫斑病*4	1	1	2			
血管迷走神経反射(失神を伴うもの)*5	26	5	31	1	1	2

*1 アナフィラキシーショック、アナフィラキシー反応

*2 急性散在性脳脊髄炎

*3 ギラン・バレー症候群

*4 血小板減少性紫斑病、免疫性血小板減少性紫斑病

*5 失神、失神寸前の状態

HPVワクチン(ガーダシル) 重篤症例一覧
(平成30年9月1日から平成30年12月31日までの報告分)

製造販売業者からの報告

No	年齢 (発生時)	性別	接種日	ワクチン名 (ロット番号)	同時接種	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発 生までの日数	報告者 重篤度	企業 重篤度	転帰日	転帰内容
1	14歳	女	平成24年9月12日 平成25年3月28日 平成29年11月20日	ガーダシル (9QN06R、 9QN06R、 9QN06R)	なし	なし	ぶどう膜炎、後天性涙道狭窄	平成25年4月30日	33	重篤	重篤	不明	不明
2	24歳	女	平成30年9月13日	ガーダシル (M048392)	なし	なし	失神	平成30年9月13日	0	重篤	重篤	平成30年9月13日	回復
3	17歳	女	不明	ガーダシル	なし	なし	感覚障害	不明	不明	重篤	重篤	不明	不明

※複数の製造販売業者から重複して報告されている症例が含まれている可能性がある

HPVワクチン(ガーダシル) 重篤症例一覧
 (平成30年9月1日から平成30年12月31日までの報告分)

医療機関からの報告

No	年齢 (接種時)	性別	接種日	ワクチン名	ロット番号	同時接種	同時接種 ワクチン	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発 生までの日数	因果関係 (報告医評価)	重篤度	転帰日	転帰内容
1	16歳	女	平成30年11月16日	ガーダシル	M048392	あり	ジェービックV(阪大微研、JR376) インフルエンザ(KMバイオロジクス、439C)	失神寸前の 状態、起立 性低血圧	アナフィラキシー反応、 失神寸前の状態	平成30年11月16日	0	評価不能	重い	平成30年11月16日	回復

HPVワクチン（ガーダシル）接種後の迷走神経反射が疑われる症例でのアナフィラキシーの可能性について

【選択基準】

本資料の重篤症例一覧にある症例のうち、2018年9月1日から2018年12月31日までに当局に新規に報告された症例から、下記のP Tを含む症例を迷走神経反射が疑われる症例として選択

- ・ MedDRA SOC血管障害のうち、低血圧、蒼白、末梢冷感、ショック、神経原性ショック
- ・ MedDRA SOC神経系障害のうち、痙攣発作、意識消失、失神寸前の状態、失神
- ・ 上記以外のMedDRA SOCのうち、転倒、血圧低下、冷感、冷汗

これらの症例について、ブライトン分類による評価を行い、アナフィラキシーの可能性を検討した結果は以下のとおり。

迷走神経反射が疑われる症例	うち、アナフィラキシーが疑われる (ブライトン分類3以上の) 症例
1例	0例

HPVワクチン(ガーダシル)接種後のGBS/ADEMの可能性のある症例まとめ

平成30年9月1日～平成30年12月31日入手分まで

【選択基準】

- GBS、ADEMの症状名で報告された症例
- 経過からGBS、ADEMが疑われる症例

報告元	症例数	専門家の評価によりGBS/ADEMとして否定できないとされた症例	
		GBS	ADEM
医療機関	1	0	0
製造販売業者	0	0	0

ワクチン接種後の急性散在性脳脊髄炎 (ADEM) 及びギラン・バレー症候群 (GBS) の可能性のある症例一覧

平成30年9月1日～平成30年12月31日入手分まで

No.	ワクチン名	年齢・性別	基礎疾患等	経過	症状名	重篤/ 非重篤	転帰	専門家の意見	ワクチンと副反応との 因果関係評価 (事務局評価)
対象期間前	1 ガーダシル (9QN03R、 9QRN03R)	17歳・女性	鉄欠乏性貧血 月経過多	子宮頸がん予防のため、組換え沈降4価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン(酵母由来)注射剤を接種当日に筋肉内接種した。(ロット番号: 9QN03R。接種量は報告されていない。)その他の併用薬は報告されていない。原疾患/合併症及び既往歴に関する情報は得られなかった。 接種105日後、本剤の2回目接種を実施した(ロット番号9QRN03R、筋肉内接種、用量、力価、解剖学的部位、及び使用期限未報告)。 日付不明、全身性疼痛、発汗異常、倦怠感、視覚異常、耳鳴、めまい、動悸、胸痛、脱力、過呼吸、筋力低下、頭痛、筋肉痛、関節痛、及び光過敏が発現した。 接種1734日後報告時点で、全身性疼痛、発汗異常、倦怠感、視覚異常、耳鳴、めまい、動悸、胸痛、脱力、過呼吸、筋力低下、頭痛、筋肉痛、関節痛、及び光過敏の転帰は不明。 接種2129日後報告時点で、全身性疼痛、発汗異常、倦怠感、視覚異常、耳鳴、めまい、動悸、胸痛、脱力、過呼吸、筋力低下、頭痛、筋肉痛、関節痛、及び光過敏の転帰は不明。 接種2489日後報告時点で、全身性疼痛、発汗異常、倦怠感、視覚異常、耳鳴、めまい、動悸、胸痛、脱力、過呼吸、筋力低下、頭痛、筋肉痛、関節痛、光過敏、歩行困難、聴覚障害、疼痛、回転性めまい、歩行障害者、不随意運動、意識消失、不安、ワクチン接種部位疼痛、右上肢全体の腫脹、腹痛、心臓の痛み、息苦しさ、感覚の麻痺、眠気、月経痛、頻脈、鉄欠乏性貧血、機能性過多月経、両膝の腫れ、HPVワクチン副反応疑い、痺れの転帰は不明。	歩行障害 耳鳴 狭心症 多汗症 過換気 胸痛 歩行障害者 光線過敏性反応 聴覚障害 末梢性ニューロパチー 麻痺 視力障害 動悸 回転性めまい ジスキネジア 筋力低下 倦怠感 浮動性めまい ワクチン接種部位疼痛 疼痛 無力症 頭痛 筋肉痛 関節痛 意識消失	重篤 重篤	不明 不明	○A委員: ワクチン接種後から神経症状の出現まで時間がたちすぎる。ADEMを証明する画像所見なく、症状は多様すぎる。 ○B委員: 記載されている症状は、痛みや不安などの自覚症状と自律神経症状であり、おそらくそれらに随伴したと推定される歩行障害や不随意運動である。「HPVワクチン接種後の急性散在性脳脊髄炎」として報告されている症状に一致するが、これをADEMと呼ぶことには賛成できない。ADEMは臨床的病理学的基準に基づいて定められた診断名であるので、古典的なADEMには該当しない。病態や診断について、いくつかの仮説が提唱されているいわゆる「HPVワクチン接種後の急性散在性脳脊髄炎」である。これが実体として脳脊髄炎とみなしてよいかどうかは、現在は結論は出ていないと考える。脳血流検査異常も非特異的であり、症状と対応していると考えだけの根拠に乏しい。 ○C委員: ADEMの診断に関しては髄液所見、MRI所見の記載がなく、情報不足のため、判断することはできない。 尚、このような疾患群が存在することは否定できないが、HPVワクチンの接種歴がなく、同様の症状を呈する場合があるのかどうか、その発症率はどの程度であるのか、といった検討も必要と思われる。	ADEMの可能性は否定的である。 ワクチン接種との因果関係は情報不足で評価できない。

委員限り 公表不可

HPVワクチン(ガーダシル)接種後のアナフィラキシー※が疑われる症例まとめ(重篤症例)

※【選択基準】

症状名が、「アナフィラキシー」、「アナフィラキシー反応」、「アナフィラキシーショック」、「アナフィラキシー様反応」、「アナフィラキシー様ショック」として報告された症例。

報告期間	報告数 ^{※※}	専門家の評価によりアナフィラキシーのプライトン分類評価が3以上とされた症例	推定接種人数
平成23年8月～平成23年11月	1	0	17万人
平成23年12月～平成24年3月	1	0	24万人
平成24年4月～平成24年8月	1	0	50万人
平成24年9月～平成24年12月	1	0	41万人
平成25年1月～平成25年3月	1	1	24万人
平成25年4月～平成25年7月	2	2	16万人
平成25年8月～平成25年9月	1	0	1万人
平成25年10月～平成26年3月	0	0	3万人
平成26年4月～平成27年6月	1	0	2万人
平成27年7月～平成28年2月	0	0	7400人
平成28年3月～平成28年4月	0	0	1800人
平成28年5月～平成28年8月	0	0	3000人
平成28年9月～平成28年11月	0	0	2200人
平成28年12月～平成29年4月	0	0	3500人
平成29年5月～平成29年8月	0	0	3100人
平成29年9月～平成29年12月	0	0	4500人
平成30年1月～平成30年4月	0	0	6200人
平成30年5月～平成30年8月	0	0	7900人
平成30年9月～平成30年12月	1	0	1万人

・ 報告日での集計のため、報告数には対応する報告期間より以前に接種又は発生した症例も含まれる。

・ 同一の症例が複数の製造販売業者や医療機関から重複して報告されている可能性がある。報告内容から重複であることが確認できれば重複を排除して集計しているが、重複か否か判断できない場合はそのまま計上している。

ワクチン接種後のアナフィラキシー※が疑われる症例(重篤)

※【選択基準】

症状名が、「アナフィラキシー」、「アナフィラキシー反応」、「アナフィラキシーショック」、「アナフィラキシー様反応」、「アナフィラキシー様ショック」として報告された症例。

平成30年9月1日～平成30年12月31日入手分まで

No.	接種ワクチン	年齢・性別	基礎疾患等	経過	症状名	転帰	専門家の評価			事務局総合評価
							ブライトン分類レベル	因果関係	意見	
対象期間内	1 医重 No. 1 インフルエンザHAワクチン「KMB」(439C) ジェービックV(JR376) ガーダシル(MO48392)	16歳・女性	失神寸前の状態 起立性低血圧	患者には、原疾患/合併症として起立性低血圧、既往歴として血管迷走神経反射があった。 子宮頸がん予防のため、1回目の組換え沈降4価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン(酵母由来)、0.5 mLを接種した(日本ロット番号:MO48392/Gロット番号:0000625908)。 その他の被疑薬として、他の被疑薬には、インフルエンザHAワクチン(投与量および使用理由は報告されていない、ロット番号:JR376)及び乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン(投与量および使用理由は報告されていない、ロット番号:439C)があった。 その他の併用薬は報告されていない。 接種当日、ワクチン接種のため保護者とともに来院。接種前の体温36.1℃。乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン・インフルエンザHAワクチン・組換え沈降4価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン(酵母由来)を接種。最後に組換え沈降4価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン(酵母由来)を接種。組換え沈降4価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン(酵母由来)を接種後普通に会話していたが接種3分後に座位にて一瞬白目をむいてぐったりふらつきだしたのを母親が気づき、抱えていき別室にて処置。心拍数が36-48、血圧測定不能、SpO2:99%。呼びかけに弱々しく応答あり。アナフィラキシーおよび血管迷走神経反射が発現。接種7分後、アドレナリン0.5mL筋注。心拍66-77、血圧(BP):176/90、SpO2:99%。応答しっかりできる。頭痛訴え座位とする。回復不十分のため救急車を呼びA病院に搬送。その後同医師が病院にて確認したところ1時間後には通常に戻り笑顔で対応。念のため1泊入院。アナフィラキシーおよび血管迷走神経反射は回復。 接種翌日、退院後母親に電話にて確認。現状は特に問題なし。 接種13日後時点で、保護者に確認してその後は回復しており問題なし。	アナフィラキシー反応 失神寸前の状態	回復 回復	OA委員:5 OB委員:5 OC委員:5	OA委員:因果関係は不明 OB委員:因果関係は否定できない OC委員:因果関係は否定できない	OA委員:血管迷走神経反射である。 OB委員:血管迷走神経反射ではないかと考える。 OC委員:記載されている症状からは、既往歴にある血管迷走神経反射と考えられる。	アナフィラキシーとは判断できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。